

# 記念館新聞

福崎町立  
柳田國男・松岡家記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原  
1038の12  
電話：0790-22-1000

## 文学者・柳田國男

柳田國男といえれば民俗学の父、というのは皆さんよくご存知のことかと思えます。しかし柳田國男が若いころから本格的に民俗学の研究をしていたわけではありません。民俗学という大きな看板の陰に隠れがちですが、柳田國男は詩人としても活躍していたことも忘れてはいけません。



ある晴れた日の鈴の森神社

柳田國男といえれば民俗学の父、というのは皆さんよくご存知のことかと思えます。しかし柳田國男が若いころから本格的に民俗学の研究をしていたわけではありません。民俗学という大きな看板の陰に隠れがちですが、柳田國男は詩人としても活躍していたことも忘れてはいけません。



### 鈴の森神社

暖かくなるとついついふらつと散歩に出かけたくなりますね。ここ辻川界隈は辻川山を中心にとちよつとしたハイキングコースが整備

**辻川散策**  
してみませんか?

いわれたそうです。後に医者であった兄・鼎のもとに身を寄せていたころに森鷗外と知り合い、その感化を受けて本格的に文学の世界へ入りました。10代の頃には文学雑誌に「利根の夜船」という自身の歌を初めて投稿しています。また国木田独歩や田山花袋といった数々の詩人・小説家とも交流を持ちました。

ちなみに柳田國男の作風はロマンチックなフィクションで、恋愛を詠じているものもあるそうです



鼎と國男の銘のある玉垣

松岡鼎が寄進した銘入りの立派な石柱が立っています。また鳥居には柳田國男が幼いころに預けられた三木家の9代目当主、三木拙二の名が刻まれています。昔はここで「村人は赤ん坊が生まれると、みなその氏神に詣でて小豆飯を供えた。その余りを一箸ずつ、集まってきた子供たちのさし出す掌の上にのせるのがならわしであり、村の童たちの楽しみでもあった。」(『故郷七十年』より)そうです。

### ☆松岡映丘展☆



「伊香保の沼」

柳田國男が幼かったころを思い浮かべながら、その静かな境内を散歩してみたいかがですか。

記念館の倉庫に、『柳田國男と遠野物語』という16ミリフィルムが保存してあります。

現在、AV機器の発達によりフィルムがあっても見る機器がないのですが、教育委員会にて偶然、映写機があったのでさっそく借りて上映してみること。

内容は、遠野物語に収められているいくつかの物語を再現しながら遠野のことや柳田國男のことを紹介するものでした。

後日、調べてみると、約35年前に製作されたもので、今でも上映のお呼びがかかるロングセラーだそうです。

せっかく見つけたこのフィルム。記念館ではどうか有効に活用できないか現在考えています。



より『太平楽』をはじめ、絵の下書きや所有品などの貴重な資料を多数出品しています。ぜひ映丘のその伝統的美意識と華麗、優美な感性を堪能してください。会期は5月29日まで

### 記念閑話